



## インド人の精神の源としての祭り

インドの各地で行われる多様性に満ちた祭りは、インドにおける豊饒な文化遺産の象徴といっても過言ではありません。インドの各州は独自の文化と伝統でそれぞれが知られています。その一態様である祭りでは、母なる自然の生命を支える様々な形態に敬意を表し、そこに供物が捧げられます。年中を通し各地で祝われる様々な祭りは、祖先から伝えられた精神的な知恵を形作り、大自然の多様な顕れに対する感謝心を育みます。

そのような祭りのひとつがマカール・サンクランティ (Makar Sankranti) です。マカール・サンクランティは、インド各地で祝われる重要な太陽暦の祭りで、毎年1月14日頃 (年によっては15日) に行われます。宗教行事であると同時に、季節の節目・収穫祭としての性格も強いのが特徴です。

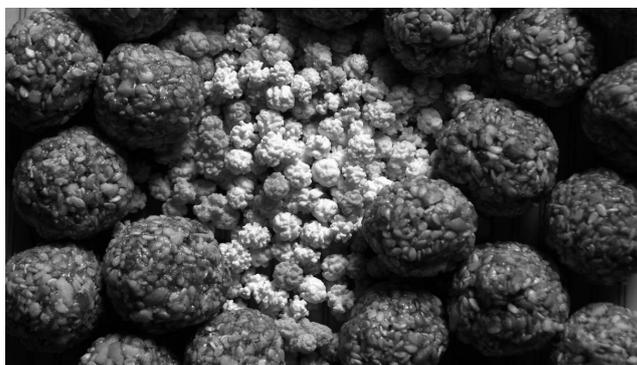
マカール・サンクランティはインド全土で祝われますが、地域ごとに違いがあります。たとえばタミル・ナードゥ (Tamil Nadu) ではポンガル (Pongal)、アッサム (Assam) ではビフ (Bihu)、パンジャブ (Punjab) ではローリ (Lohri) として祝われ、ほぼすべての祭りが日照時間の延びや新しい収穫の到

来を象徴するテーマを共有しています。この祭りはまた、寒い冬の月から暖かい季節への移り変わりを知らせ、人々が喜びと開かれた心でそれらを迎え入れることを意味します。

なかでも代表的な祭りとしてウッタラヤーニ・メラ (Uttarayani Mela) があります。ウッタラヤーニ・メラは、インド北部のヒマラヤ山脈に近いウッタラーカンド (Uttarakhand) 州で開催される祭りです。

ウッタラヤーニ・メラが祝われるウッタラーカンド州内の場所としては、バゲーシュワル (Bageshwar)、ラーメーシュワル (Rameshwar)、ドゥワラハート (Dwarahat)、スルト (Sult) などがあります。たとえば、バゲーシュワルでは、サラユ (Sarayu) 川とゴーマティ (Gomati) 川の合流点で聖なる沐浴が行われます。

メラとは巨大な市場のことで、ウッタラヤーニ・メラは宗教と経済と娯楽の三要素が重なった祭礼といえます。そこでは大規模な市場が開催され、多くの出店者が地元の手工艺品、食べ物、手織りの服、子供向けの玩具などの地元産品を販売します。メラは、年に一度、人と物が大量に集まる機会であり、地域





最大の経済イベントといえます。

また、ウッタラヤーニ・メラには伝統的な民俗公演などを含む娯楽の側面があります。宗教行事でありながら、「年に一度の大社交場」としての機能も持つのです。伝統的な民俗公演では、さまざまな地域言語による歌唱や、チョリヤ (Chholiya) など多くの民俗舞踊が行われ、観客を魅了します。

マカール・サン克蘭ティの祭りとは別に、ウッタラーカンドではググティヤ (Ghughutiya) というもう一つの祭りも祝われます。この祭りは、子どもと鳥 (カラス) が主役になる、非常に地域色の強い行事として知られています。ググティヤはカレ・カウバ (Kale Kauva) と呼ばれることもあります。カレ・カウバは「黒いカラス」という意味です。

ググティヤは、宗教的な祭りというより、その地域の独自の生活文化から生まれた風習の側面を持ちます。クマオン (Kumaon) 地方のググティヤでは、小麦粉や米粉、黒砂糖 (ジャガリー) などを用いて鳥などの形のお菓子を作り、それらを糸でつないで首飾り (マラー) にします。朝に子どもがカラスを呼び、カラスが食べに来たら縁起が良いとされます。カラスは祖先の魂の使者と考えられてきたからです。

ガルワール (Garhwal) 地方では祝祭の様相が異なり、「キッチディ・ティヤル (Khichdi Tyar)」とも呼ばれています。「ゴルディヤ (Gholdiya) (鹿の形をした料理) や「チュニヤ (Chunya) (雑穀料理) などの地域特有の



食物を人々は準備します。重要な宗教的要素として、ウラッド豆のキッチディ (Urad khichdi) がバラモンへの供物として準備されます。

これらの他にも、マカール・サン克蘭ティは顕著な地域差を有しています。ジョハール (Johar) 地方では、マカール・サン克蘭ティの前夜祭となるググティヤ (Ghughutiya) 祭においてジャーン (Jaang) という種類の酒を先祖に供える儀式が行われます。ダルチュラ (Dharchula) 地方では、おいしい料理を準備するだけでなく、牛糞でコーティングした小麦草を祭事の一部として用いるのが慣習となっています。

このようにインドは多様な祭り文化に満ちており、母なる自然の無私の愛と寛大さに感謝を捧げるための祭りが様々な地域で異なる機会に祝われるのです。そしてそれを通じて、祖先から伝えられた知恵、大自然の多様な顕れに対する感謝が育まれます。

### 筆者紹介



#### ジャグモハン・シン・ネギ (Jagmohan Singh Negi)

インド特許弁理士。Global IP Indiaに所属するテクニカル・アソシエイトです。

機械工学の学士号 (B.Tech) および熱工学の修士号 (M.Tech) を取得しています。電気機械装置、製造技術、ターボ機械、包装技術、医療機器、個人用安全装備、マイクロ構造フィルムなど、幅広い技術分野において、米国、欧州、PCT、インド向けの特許明細書作成を専門としています。

趣味はクリケット観戦と音楽鑑賞です。

【参考】 [www.unitedgips.com](http://www.unitedgips.com)

